

1-7. 単元の展開（全8時間）※教科横断的単元として実施

※おおよそ生活科での、見学、体験学習は同じ流れで進めている。

オリエンテーション→質問を考える→見学・体験→まとめ

時 数	学習活動・主な内容	◆教師の指導 /◇ 主な評価 ■外部連携 /□使用教材等
1	生活科 ○活動オリエンテーション ・活動のめあての確認 ・活動内容を知る ○質問を考えて、メモする。	◆ねらいを理解させる。 →単に見学に行くだけでなく、「発見」をしてくる ということがめあてであることを児童が理解し た上で見学に臨めるように指導 ◆事前に質問（聞きたい事）を自分で
2 ～ 4	生活科 ○見学活動 校外学習として、実施。 午前中3時間	◆見学の仕方を理解させる。 説明を聞いた事、発見したことはメモをしながら 見学、探検をしてくる。 ■じょうぜん寺・加茂水産高等学校・カニ屋 の方々に事前に連絡し、説明、質問に答えていた だくようお願いをする。 ◇興味・関心を持ちながら活動することができたか。
5 5	生活科 ○体験発表 ・自分がまとめたシートを使って、発表	◇相手に伝わるように話すことができたか

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目 見学学習

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

茂の港町に関わる活動を通して、様々な人たちが生活していること、また、そこには、様々な仕事があり、それらの仕事に関わっている人たちがいることを知る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / ○反応	教師の指導・支援 /◇ 評価の視点（方法）
1 学校発→バス移動 2 会場着 3 見学活動開始 4 グループごとに加茂地区を歩いて回り、見学する場所に立ち寄り、説明質疑応答。	教師は、活動の見守り、児童のつぶやきを拾い、興味や関心が高まるように関わる
  	
  	
5 見学終了 6 バス移動	

3. 今回の活動の自己評価

成果○課題▼

○この活動を行って、3年目となるが、見学場所に、港町の特色が感じられる場を選定しておこなったことにより、様々な人が生活し、仕事をしていることの多様さを、子どもたちに知り、感じさせることができた。

課題▼

▼特になし。

4. 今後の課題

- ・どの活動にも共通することではあるが、持続可能な教育活動にしていくための、仕組み作り（円滑に、かつ、効果的に実施を続けていくことができる）に取り組んでいく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・教科横断的視点で、「生活科」として取り組んだ内容。海洋教育ではあるが、教科として行う上では、資質・能力・態度の面は、「生活科」に準じて設定している。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。